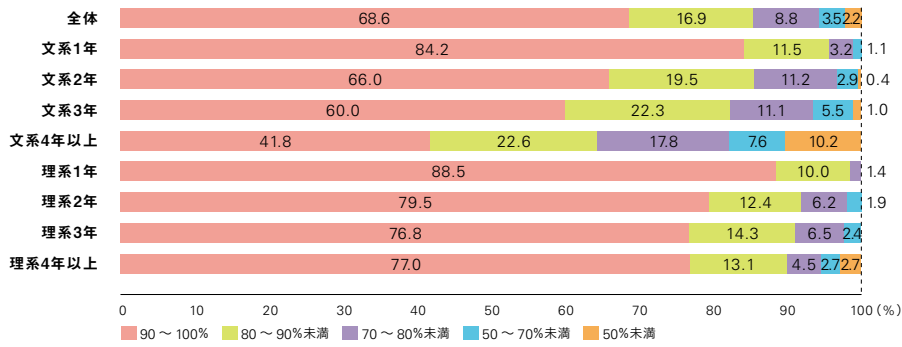


1. 授業への参加、教員との関係

図表1-1 今年度春学期の授業平均出席率



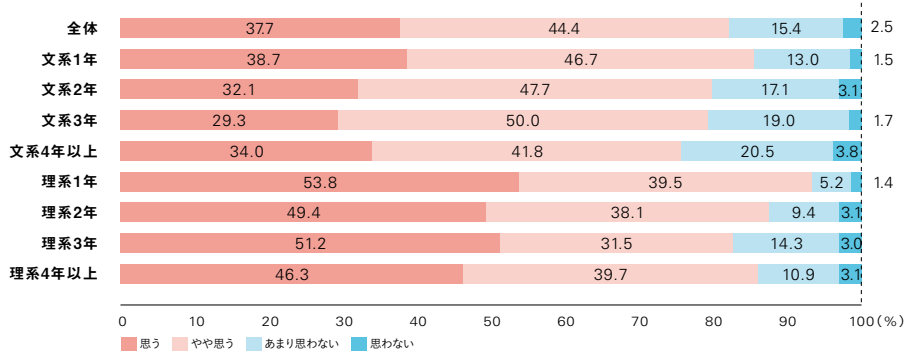
今年度春学期の授業出席率は、全体で「90～100%」が69%、「80～90%未満」が17%と、総じて高くなっています。文系よりも理系で、高学年よりも低学年で高く、理系1年は、ほぼ全員が「80%以上の出席率」です。

図表1-2 授業選択時に重視する項目 (主なものを2つまで選択)

	N	講義内容	授業形態	担当教員	曜日・時間帯	出席チェックの有無	単位取得の難易	その他
全体	3274	80.8	9.9	13.1	57.3	2.5	34.5	0.5
文系1年	791	84.8	7.2	11.1	59.3	1.8	33.5	0.4
文系2年	551	78.8	8.9	10.5	60.8	2.4	36.8	0.7
文系3年	589	77.9	11.7	14.8	60.4	2.4	32.1	0.2
文系4年以上	575	81.2	12.3	16.2	57.9	2.8	27.8	0.7
理系1年	210	81.4	8.1	8.6	50.0	1.0	49.5	0.5
理系2年	161	77.0	10.6	10.6	51.6	3.1	45.3	0.0
理系3年	168	78.0	12.5	16.1	46.4	6.5	37.5	0.0
理系4年以上	229	83.0	10.5	17.5	50.7	3.1	32.3	0.9

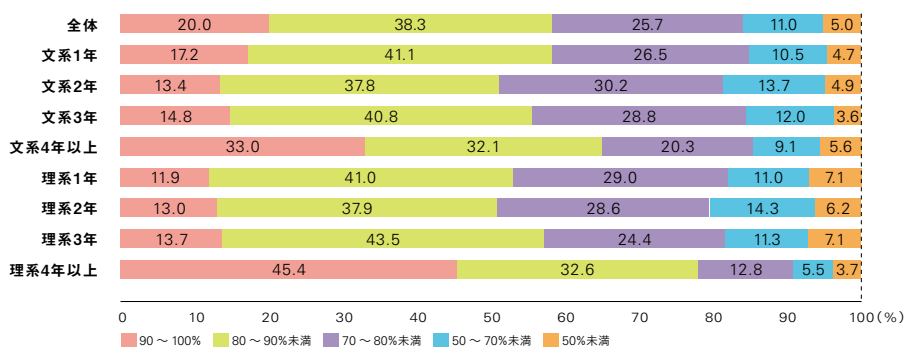
授業選択時に重視する主要な2項目を選択してもらったところ、全体の80%が「講義内容」、57%が「曜日・時間帯」、そして35%が「単位取得の難易」を挙げています。文系・理系とも高学年では「担当教員」「授業形態」を重視する傾向もみられます。

図表1-3 大学の授業は今後の進路先で役立つと思うか



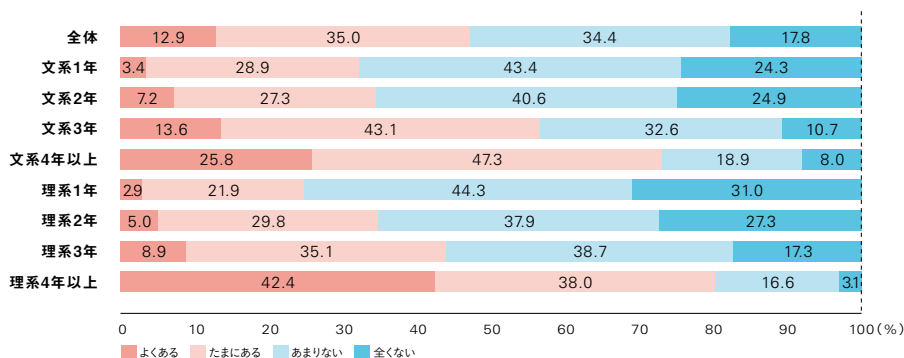
全体では、「思う」「やや思う」が82%と高くなっています。その比率は、文系よりも理系で、高学年よりも低学年で高くなっています。

図表1-4 今年度春学期で満足している授業の比率



今年度春学期に「満足した授業の比率」は、それほど高くはありません。全体では「90%以上」の比率は2割にとどまり、「80%以上」でも6割です。しかし、文系・理系とも4年以上で「80%以上」の比率が高い点が注目されます。

図表1-5 教員と話をする頻度



図表1-6 話をする教員の種類 (複数回答) (教員と話をするのが「よくある」「たまにある」の回答者のみ)

	N	クラス担任	語学の教員	演習・ゼミの教員 (指導教員)	講義の担当教員	指導教員(大学院)	課外活動団体の 責任者(会長、部長)	その他の教員
全体	1562	11.6	27.5	68.0	37.6	2.2	3.5	3.5
文系1年	254	30.3	63.8	24.0	39.0	0.4	1.2	2.4
文系2年	190	14.7	51.6	53.7	48.9	0.0	2.1	2.6
文系3年	333	3.6	19.8	90.1	31.5	0.3	6.3	3.9
文系4年以上	419	3.6	12.9	91.9	29.6	1.7	3.6	3.1
理系1年	52	15.4	32.7	13.5	76.9	9.6	0.0	3.8
理系2年	56	17.9	33.9	12.5	76.8	3.6	3.6	5.4
理系3年	74	21.6	10.8	47.3	64.9	6.8	5.4	5.4
理系4年以上	184	8.2	2.7	89.7	19.6	7.6	2.7	4.3

教員と話をする頻度は、文系・理系とも高学年ほど「よくある」「たまにある」の比率が高く、文系4年以上では73%、理系4年以上では80%以上になっています。「話をする教員」は「演習・ゼミの教員」が圧倒的です。